

1. フレントツ神父の講話 2020年4月14日 英語のメッセージからの訳(Sophie K)

父と子と聖霊の御名によって、アーメン。死から蘇られたイエスは褒め称えられますように。私たちの母である聖母マリアは褒め称えられますように。

皆さん、私の後ろには満開の日本の桜があります。実は私は本来は今頃、黙想会で日本の兄弟姉妹と信仰を分かち合うために、日本に向かう飛行機に乗っているはずでした。しかしコロナウィルスのために日本に行けなくなり、直接信仰を分かち合うことができませんので、特別な形で分かち合いを行います。私たちは聖霊によって一致しています。

今日の福音ではマグダラのマリアがイエスを探し求め、イエスの墓で泣き、イエスにすがりつこうとしました。イエスはこう言われました。「私にすがりつくのはよしなさい。私はまだ父のもとへ上っていないのだから。わたしの兄弟たちのところへ行って、こう言いなさい。『わたしの父であり、あなたがたの父である方、また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のところへわたしは昇る』と。」

これは逆説のように思えます。イエスは御父のもとにまだ昇っていないと言いますが、イエスが御父のところへ行き、地上にいなくなってしまったなら、どうやってマグダラのマリアはイエスにすがりつくことができるのでしょうか。

これは特別なメッセージです。イエスは私たちに、ご自分から学ぶようにとお教えになりたいのです。ヨハネによる福音の中で、イエスは時に私たちが驚く方法で答えをお与えになります。私たちは立ち止まり、心の中、霊の中に下りて、イエスの声を聞かなくてはなりません。「イエス様、このメッセージで私に何をお話になりたいのでしょうか。」

イエスは抱きしめられたくないわけではなく、私たちと一緒にいたくないわけでもありません。御父のもとに行かれるときにイエスは弟子たちに「私は世の終わりまでいつもあなたがたと共にいる」と約束をされたことを私たちは皆知っています。

イエス様、あなたはどのように私たちと世の終わりまで一緒にいてくださるのでしょう。弟子たちは、マグダラのマリアは、イエスからの特別な贈り物を待たなくてはなりません。それはイエスの完全な存在、すなわち肉体を持つ人間的なあらわれではなく、聖体における実在です。

私たちは今、聖体拝領ができずに苦しんでいます。聖体への望み、イエスを抱きしめたいという望みが日ごとに大きくなり、これは言わばよい意味での逆説です。弟子たちは聖霊降臨の後、聖霊を受けた後に、心の底から理解しました。イエスは高間で最後の晩餐の際にパンと葡萄酒を取り、「これを取りなさい、あなたがたに与えられた私の体である。これを取って飲みなさい、これは新しい契約の杯、罪が赦されるための私の血の杯である。」と言われました。

しかし弟子たちはイエスの中におられた聖霊に満たされたとき、初めてこのことを悟ったのです。そのためイエスは「待ちなさい。聖霊を受けるのを待ちなさい。聖霊に満たされるのを待ちなさい」と言われたのです。

弟子たちは私たち司祭にこのように教えてくれます。私たちが感謝の祭儀を行うたびに、「主よこの贈り物を聖別してください」と祈るように。「主よ、あなたが下りてくださるよう、聖霊が降り注ぎますように。パンと葡萄酒がイエスキリストの御体と御血になりますように」と。

皆さん、マリアの神秘も同じです。天使がやってきたとき、「男の人を知らないのにどうして子供を産むことができますでしょうか」とマリアは尋ねました。「聖霊があなたに降り、いと高き方があなたを包む。だから生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれるでしょう。」イエスはマリアの中で成長しました。イエスはみことばによって来られ、聖霊の力を通して私たちの命の中に来られるのです。

実際、使徒言行録の中に私たちは聖霊の働きの実りを読むわけですが、今日の朗読箇所は神殿の前でのペトロの説教です。私たちキリスト者にとって一番なすべきことは、父なる神に聖霊を送ってくださるようお願いすることです。聖霊の中に住まうことができますように。聖霊の中で祈ることができますように。父なる神との一致に留まり、イエスとマリアとの一致に留まり、そしてまた、他の人々との一致に留まることができるように。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、神は素晴らしいお方です。どんなに制限があってもイエスを止めることはできません。イエスは私たちを抱きしめてくださいます。私たちがイエスを抱きしめるよりずっと強く。これは大きな恵みです。

祈りましょう。天におられる父よ。イエスに命を与えてくださったことを感謝します。あなたはイエスを墓から出してくださいました。聖霊の力によってイエスは生きておられ、その約束は私たち一人一人のために実現していることを感謝します。2

私たちが強さで満たしてください、聖霊の油注ぎで満たしてください。あなたと触れ合うことができますように。交わりの中に留まることができますように。教会の交わりの中に留まることができますように。

あなたの祝福を願います。特に日本の兄弟姉妹のために。神の祝福があなたとあなたの家族とともに。またあなたの美しい国にありますように。

父と子と聖霊の御名によって、アーメン。

いつになるかはわかりませんが、私は皆さんに会える日が来ることを確信しています。